

私のすすめるこの1冊

原田 宗彦（本学学長）

『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ（著）

本書は、芸能人やスポーツ選手などを応援する「推し（推し活）」をテーマに、現代的で、なおかつ日本的な消費行動を描写した小説であり、2026 年の本屋大賞に輝いた人気作品である。購入のきっかけは、私の関心領域である「スポーツファンの消費行動」の新しい分析視点になると考えたからである。

タイトルの「メガチャーチ」とは、文字どおり「巨大教会」を意味する。しかし本書では、単に宗教施設を指すのではなく、人々に所属感や生きる意味、共有できる物語、そして熱狂を与える「巨大な共同体」の比喩として用いられている。

「推し」とは、「自分が特に応援したい人物や対象」を意味し、「推し活」とは、推しを応援したり、楽しんだりする活動全般のことを意味する。本書が描くのは、そうした個々のファンだけではなく、「ファンダム」と呼ばれる、特定の対象に対して強い情熱を持つファンたちが、推し活を通じて形成していく独自の文化圏やコミュニティである。そこでは、アイドル、スポーツチームや選手、アニメ、ゲームなど、特定の対象を単に「見る」「買う」「楽しむ」だけではなく、強い感情を投じ、他者とその思いを共有し、ときには自ら情報を発信し、関連商品を購入したり、イベントに参加したりする。つまりファンダムとは、消費者が単なる「受け手」とどまらず、自ら対象の価値や物語を広げつつ、大きな経済圏をつくる「担い手」になることに大きな特徴がある。

本書で特に興味深かったのは、「好きな対象を応援する」というファンの側だけでなく、その熱狂を人為的に生み出し、維

持し、拡大しようとする「集団心理をマネジメントする」企業の側にも焦点を当てている点である。ファンの熱狂は、必ずしも自然発生的なものだけではない。その背後には、人々の感情を動かす物語をつくり、ファン同士のつながりを促し、「自分もこの共同体の一員である」と感じさせるためのさまざまな仕掛けが存在する。

この点は、ファンダムの世界を広げることを重要な課題としてきたスポーツマネジメントにも、多くの示唆を与えてくれる。例えば、プロスポーツチームが選手の成績や試合結果だけを提供していても、強固なファンダムは形成されにくい。選手の成長や挫折、チームの歴史、地域との関係、ファン同士の交流などを「物語」として共有することで、観客は単なるスポーツの消費者から、「このチームを自分たちが支えている」と感じる当事者へと変化していく。

そう考えると、現代のスポーツビジネスにおいて重要なのは、単に「ファンを増やす」ことではない。阪神タイガースの熱狂的な応援団である「猛虎会」のような、いわば「信徒集団」をいかに形成するかであり、ファンに所属感を持ってもらい、物語を共有し、ファン同士がつながり、自発的にその世界を広げていく環境をいかにつくるかということである。本書における「メガチャーチ」という比喩は、現代のスポーツチームやクラブが築こうとしているファンダムの本質を、小説という虚構の世界を通して、鮮やかかつ巧みに浮かび上がらせている。



おすすめ本紹介原稿を募集します！

あなたのおすすめ本を紹介しませんか？

図書館に所蔵されている本の中から、皆さんの愛読書や心に残っている一冊を紹介してみませんか。寄稿いただいた原稿は、図書館ニュースに掲載いたします。

【文字数】300～400 字程度

【校正】1 回のみ

【提出方法】原稿を Word ファイルで作成し、メールに添付して library@kyokyo-u.ac.jp 宛てにお送りください。

【掲載方法】掲載の可否・編集については図書館にご一任ください。

皆さんからのご投稿
お待ちしております！



この秋、専門書をさがしにでかけませんか？

10 月から 11 月にかけて、5 つの対象店舗へ好きな時間に行って「専門書」を選んでいただく、非集合型ブックハンティングを開催します。

詳細は下記二次元コードからご確認ください。

みなさまぜひご参加ください！

【申込〆切】10 月 7 日(水)

【対象期間】10 月 14 日(水)～11 月 20 日(金)



詳細案内



申込フォーム

「新着電子 BOOK」のポスターを 掲示しています

新たに購入した電子書籍のポスターを、「新着図書コーナー」の横に展示しています。

各ポスター下側にある二次元コードは切り離し可能ですので、読みたい本/興味がある本があれば切り取ってお持ち帰りください。

なお、スマホや学外から電子書籍を利用する際は「学認でサインイン」を選択し、学内アカウントの ID・パスワードを入力してご利用ください。



「2026 前期ブックハンティング」選出本を 展示しています！

6 月 10 日(水)・17 日(水)に京都丸善本店にて「前期ブックハンティング(選書ツアー)」が開催され、6 名の参加学生がバラエティ豊かな本を選んでくれました。

現在、選んだ学生による推薦文とともに展示中です。どなたでも自由に貸出できますので、ぜひご利用ください！

【展示期間】9 月 3 日(木)～10 月 7 日(水)

【展示場所】1 階渡り廊下(新着図書コーナー横)



図書館講習会のお知らせ

図書館ではさまざまな講習会を予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ 皆様のご参加お待ちしております！

【実施期間】10月14日(水)～11月13日(金)

【申込方法】氏名・専攻・人数・希望講座・希望日時(曜日・時限(平日11:30～17:15まで))を明記の上、以下のメールまたは Google フォームから前日までにお申し込みください。

調整のうえ、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

・メール: library@kyokyo-u.ac.jp

・Google フォーム: 二次元コードから申込可能

【集合場所】附属図書館カウンター

※詳細は図書館 HP 等をご確認ください。



連動企画: データベースのプラス 50 アクセスアップ

ジャパンナレッジ: 10月14日(水)～10月20日(火)

朝日新聞クロスサーチ: 10月14日(水)～10月27日(火)

製本作業による雑誌の利用制限について

南館 1 階にある雑誌のうち 2025 年の発行分を中心に、一部が製本作業のため、9 月上旬頃から利用できなくなります。製本後はすべて西館 3 階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。

※詳細についてはカウンターまで



京都教育大学 それはかなう夢講座

「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第53回のお知らせ

YouTubeで10月中旬に公開予定

【講師】坂部 崇政(体育学科 講師)

【テーマ】やる気を科学する

ー教室で活かすスポーツ心理学ー

<概要>「どうすれば子どものやる気を引き出せるのか」という問いは、学校現場において多くの教員が直面する重要な課題の一つです。しかし、スポーツ心理学の研究では、やる気は子ども自身の特性だけで決まるものではなく、教員の関わり方や学習環境との相互作用によって育まれることが明らかになっています。本動画では、スポーツ心理学の研究をもとに、やる気を高める環境づくりや効果的な目標設定、フィードバックのあり方について紹介します。スポーツ現場で培われた科学的知見を教室でどのように活かせるのか、一緒に考えてみましょう。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

今までの
回も視聴
できます。



イベント案内

京都教育大学創基150周年記念展示 第7回教育展「京都教育大学の150年」

京都教育大学は令和8年に創基150周年を迎えました。本展では、師範学校時代から京都学芸大学、京都教育大学へと続く歴史を貴重な資料で紹介するとともに、学科やセンターゆかりの「逸品」を展示し、本学の教育研究の多彩な魅力をお伝えします。



【会期】10月30日(金)～12月15日(火)

【休館日】日曜・祝日、および 11/4(水)、11/28(土)、12/5(土) ※11/15(日)は藤陵祭のため開館

【時間】附属図書館の開館日時に準じる

【会場】京都教育大学附属図書館 北館1階企画展示室



企画展示室の利用について

北館1階の企画展示室は、学生や先生の研究発表・作品展示の場所として利用できます。是非ご活用ください。

※申込み・問い合わせは図書館事務室まで



リクエストと投票で話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定する企画です。
※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。
投票期間は **10月1日(木)～10月30日(金)**

投票をお待ち
しています!

夏季休暇に伴う長期貸出について

返却期限日は10月8日(木)です。

<開催のお知らせ> ※本学は連携参加大学です
第14回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー
9月19日(土)～2027年2月23日(火・祝)

児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)
『パオちゃんのうんどうかい』

作:なかがわ みちこ
出版社:PHP 研究所



※
児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られています。
ぜひ見に来てくだ
さい。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【10月の開館日時】

・5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月) 14:00～17:00

・31日(土) 10:00～16:00 ※京都教育大学創基150周年記念式典



今月の逸品

『平安通宝』

展示場所:附属図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 樋口 とみ子 (教職キャリア高度化センター 教授)

問題解決的な学習のプロセスにおけるメディアの位置 —戦後初期の単元「西陣織」実践に焦点をあてて—

樋口 とみ子

京都教育大学紀要 2026, No.148, pp.93-110
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/10102>



私は大学で「総合的な学習の時間の指導法」を担当しています。「総合的な学習(探究)の時間」においては、これまで以上に問題解決的な学習や探究的な学習を進めていくことが求められています。では、問題解決的・探究的な学習は何をもって特徴づけられるのでしょうか。単に調べて終わりにならないためにはどのような視点が必要なのでしょう。

本論文では、問題解決学習をめぐる議論が盛んに展開された戦後初期にさかのぼり、当時の論点を浮き彫りにするとともに、具体的な学習プロセスのなかでメディア(教科書や書籍、図鑑、資料集など、情報を伝える媒体)がどのように用いられたのかを検討しています。というのも、子どもたちがメディアとどう向き合うかという点は、対象への認識を深め、物事の本質を見極めようとする問題解決的・探究的な学習において重要な位置を占めるものと考えられたからです。

具体的には、1953(昭和 28)年度の京都市立日彰小学校の5年生を対象とした単元「西陣織」を取り上げています。この実践は、京都師範学校の卒業生、永田時雄教諭の学級で取り組まれました。当時、ともすれば表面的で中途半端な問題解決に陥りがちであるという批判も生じていたのに対して、永田教諭は西陣織に関連する様々なメディアを子どもたちと集めて比較しながら共通理解を図ったり、学級の問題関心にもとづく新たな資料を子どもたちとともに作りあげていったりしました。

先達の積み重ねた工夫に学びつつ、これからの時代の教育実践を学生のみなさんとともに探究していきたいと思っています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要148号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERE)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 □9:00-17:00 □10:00-17:00
□9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2026年10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10/1 後期授業開始
10/17 大学院入試

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

2026年11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

11/4 館内整理日
11/13-15 藤陵祭
11/28 学校推薦選抜入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ→
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>



← 公式 Instagram

アカウント名称: 京都教育大学附属図書館
ユーザーネーム: @kyotokyoikuunivlib

京教図書館 News No.313 (2026年 10月号)

発行日: 2026年 10月 1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp



国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION